

幼稚園等・小学校・放課後児童クラブに定期配本と出張サービス、障がい者生活介護施設の定期来館

岐阜県 神戸町立図書館

基本データ

所在地	岐阜県安八郡神戸町大字 北一色821番地の1
職員数	6人
うち司書数	5人
蔵書数	82,287冊
利用登録者数	22,515人
年間貸出冊数	116,218冊
	(児童用図書貸出数 63,852冊)

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】地域の課題解決、まちづくり

【活動のねらい】

- 本を読む・調べる場所から、だれでも来館しやすく、またしがいがあ
り、くつろいで楽しむ・活動できる場所を提供していくことで、地域の
居場所・何かができる場所としての存在意義を確立する。

取組・活動の概要

【対象】

- 町立幼稚園小中学校及び放課後児童クラブ、同障がい者生活介護施設、同児童発達支援学園

【頻度】

- 幼稚園・児童発達支援学園・放課後児童クラブ
へ定期配本：月1回
- 障がい者生活介護施設の来館受入れ：毎週金曜

【開始時期】

- 幼稚園・学校等：平成30年度～
- 児童クラブ 同上：令和1年度～
- 「やさしい本」コーナー：平成30年度～

【活動の内容】

- 職員が車に積み込み、直接各施設へお届けする定期配本。
- LLブック、布の絵本やさわる絵本、大きな活字の本「やさしい本」など。
- コーナーの設置、レイアウト変更。児童スペースの机イスを倍増。
- 読み聞かせ用資料と物品を充実させ、使いやすくオープンな配置にした。

取組・活動の工夫や特徴

- 窓口カウンターが長く、別に展示室を持っていることを活かし、積極的に対象団体の作品展示を呼びかけ、相互的な交流となるよう配慮した。
- 読み聞かせ本コーナーを設置、リストの作成・配布、配本前後にききとりをして、多忙な保育士の「すぐ役立つ」ように心がけた。
- 係連絡を密に、利用者からの対象者来館時の不審者問合せには巡回・把握していることを話し、特色である居心地よさを皆が感じられるよう配慮した。
- 町の教育施設に必ずしも本（の購入費）が十分でない一方、本館は4（児童書）：6（一般書）の割合で児童書が多い。地域のために、図書館資料を最大限活かすことを目標に、導入は少し強引なくらいではあったが、要望をききながら、配って回っている。
- 活動を実施するにあたっては、職員全員が意義を十分に理解して取り組む体制とするために、研修に平等に・積極的に参加し、館内でも行った。
- また、職員それぞれの職域・個性に適した役割をできるだけ全員が持ち、当事者意識を持つことを重視している。
- 気づき・提案・失敗は情報共有し、風通しのよい職場となるようにしている。

取組・活動の成果や今後の展望

- 幼稚園等：リクエスト・保育士の直接来館・交流が増えた。
- 小中学校：取組みから1年半しか経過しておらず、学校司書・学校教諭とのコミュニケーションがまだできていない。課題である。
- 職員研修による対応・コミュニケーション能力の向上や、本当に望まれることをすくい取っていく必要がある。
- また、ワークスペース等を用意して、図書館利用の多様化を期待したい。

